



# 令和5年度群馬県退職校長会定期総会開催

令和5年5月18日(木)  
群馬県生涯学習センター

群馬県

# 退職校長会だより

第86号

発行 群馬県退職校長会  
 会長 立見康彦  
 前橋市岩神町3-1-1  
 前橋市総合教育プラザ内  
 TEL 027-235-1574  
 編集 広報部  
 部長 田村悦司  
 印刷 朝日印刷工業株式会社

## 【総会次第】

- 1 開会のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 会長あいさつ
- 4 来賓祝辞  
 群馬県教育委員会教育長  
 全国連合退職校長会会長  
 群馬県教育振興会会長
- 5 来賓紹介  
 上寿・米寿会員  
 寿詞・賀詞贈呈・記念品贈呈
- 6 高齢者叙勲・教育功労等叙勲受章者記念品贈呈  
 特別表彰並びに記念品贈呈  
 感謝状並びに記念品贈呈  
 謝辞 受賞(章)者代表
- 7 報告
- 8 令和4年度事業報告
- 9 令和4年度決算報告・監査
- 10 議事
- 11 閉会のことば

## あいさつ(要旨)

会長 松井和夫



初夏の候、  
 本日は群馬県退職校長会の定期総会に、各支部代議員の皆様、早朝より遠路、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日は公務多忙の中、ご来賓として群馬県教育委員会教育長様、並びに全国連合退職校長会会長様をはじめ、多数の方々のご臨席を賜りました。定期総会がこのように盛大に開催されることに対しまして、心よりお礼を申し上げます。

なお本日は、令和元年に開催された総会以来、実に4年ぶりの集合、参集・対面の開催となります。

さて本会は今年度、昭和40年に発足以来58年目を迎え、現在会員数は約1650名となっております。

これまで本会会則第3条に「会員相互の連携・親睦を図り、教育の振興に寄与することを目的とする」とあるように、諸活動を実施しています。毎年、課題に対しては改善と創意工夫に努め、会員の連携や親睦を図る機会を持ち、その目的を達成するために取り組んで参りました。

令和4年度の事業は、事業部の担当で現地研修会を前橋市の臨江閣で開催しました。次に、本部役員と現職小中

学校長会本部役員との連絡協議会が3年ぶりに再開され、教育支援活動の充実に向けて多くの情報を得ることができました。

さらに「ぐんま教育の日推進大会」は、16年連続で開催することができました。京大大学院の串田俊巳先生をお招きして「今後の部活動の方向性について」と題してのご講演と、学校現場から境采女小学校と高崎商業高等学校の実践事例発表を行いました。

この他、管理職の60歳役職退任制、65歳定年制への実施が開始され、総務部や本部役員会で協議し、本会への入会加入は、60歳で管理職を離れる役職退任時に行うことにしました。

また、新規会員を増やす取組については、例年、校長職退任時に入会のお誘いをしていくところですが、昨年度から少し長い目、長い期間で入会の理解を得る取組として、新任の校長先生に祝意を表す手紙とともに記念品を贈る活動を行っています。

活動方針案には、これまでの活動を踏まえた上に、令和7年度群馬県退職校長会創立60周年記念事業及び令和8年度退職校長会関ブロ群馬大会の準備を開始することや、各関係団体との連携や情報交換を強化することなどが新たに盛り込まれました。

なお、会員の福利については、生活に直結する年金や医療、保険、介護問題、教育環境の改善や施設設備等の全国的な課題については単独では行えませんので、全国連合退職校長会と連携を図りながら要望活動を推進して参り



ます。  
結びに、退職校長会の活動は各支部と県の活動が一体のものとなって進められていきます。両者の連携を一層密にして、地域の教育活動の応援団として、社会から期待される存在感のある退職校長会を目指して今年度の活動を推進していきたいと思っております。

### 祝 辞 (要旨)

群馬県教育委員会

教育次長 栗本郁夫



令和5年度  
群馬県退職校長会総会が、このように盛大に行われま

すこと、まず

申し上げます。  
皆様方には、日頃より教育界の先達として、本県教育の発展にお力添えをいただいておりますこと、さらには第一線を退かれた後もなお、それぞれが地域の中核として、学校教育や社会教育を支援し、ご活躍されていることに、心から感謝と敬意を表すとともに、本会のご盛会をお祝い申し上げます。

本会は創立以来、半世紀以上にわたり、本県教育行政の推進に重要な役割を担っていただいております。県教育委員会といたしましては、皆様方が築かれてきた伝統をしっかりと受け継ぐとともに、時代の変化に対応しながら、

常によりよい教育を目指し、様々な課題の解決に邁進して参りたいと考えております。

さて、社会全体のデジタル化をはじめ、社会が急速に変化する中、学校教育も大きな転換期を迎えております。県教育委員会といたしましては、「第2期群馬県教育大綱」や「第3期群馬県教育振興基本計画」の下、誰一人取り残さない教育や知事の提唱する始動人の育成に努めております。令和3年度からは、全ての市町村のご理解・ご協力をいただきまして、小・中・高等学校において、一人一台パソコンを整備し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す教育のイノベーションを進めております。さらに今年度からは、国内外の専門家の先生にご協力をいただきながら「非認知教育」に関する取組を始めております。「非認知教育」とは、課題を自分事化し、自ら考え判断して責任ある行動を取る力と捉えており、認知能力とともに全ての教育活動において発揮されていくものであると考えております。

また、社会全体で叫ばれている教職員の多忙化解消や教員不足についても大きな課題であります。県教育委員会といたしましては、先生方が子どもたちと向き合い、これからの教育をしっかりと自分なりに考えられる時間を確保するとともに、教職としての魅力を発信できるように様々な取組を推進しております。このことにつきましては、是非皆様方のご理解とお力添えを賜りたくよろしくお願いいたします。

5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へと変わり、引き続き感染症対策を徹底しなければならぬ状況ではありますが、各学校が様々な教育活動を実施できるようになり、子どもたちの笑顔が戻ってきていることと思えます。改めて学校という場所は、子どもたちにとって大切な居場所であり、集団生活を通して社会性を育む場であることを再認識しております。

ご退職されました皆様方におかれましても、今後とも学校教育や社会教育充実のために豊富な知識やご経験を生かしお力添えをいただければと思えます。

結びに、群馬県退職校長会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を祈念申し上げます。祝辞といたします。

### 祝 辞 (要旨)

全国連合退職校長会

広報部長 村山忠幸



昭和40年に設立された群馬県退職校長会の定期総会が、松井和夫

役員の方々、支部役員の方々、会員約1650名の総意の下に、このように立派に開催されますこと本当におめでとうございます。

群馬県は毎年、「ぐんま教育の日」の

推進大会が開催され、退職校長会が中心となり運営されていることは素晴らしいことでもあります。

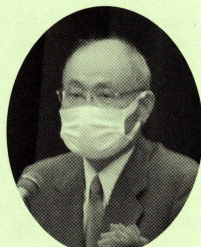
また、群馬県退職校長会だよりを拝見しますと、活動内容が大変充実しており、県を挙げて真摯な取組が行われていることに深く敬意を表します。「生き生き人生」のコーナーには、会員の皆様の声が掲載されており、その内容にはすぐく共感を覚えるものが多く全連退の会報にもしばしば掲載させていただいております。

全連退では今年、文科省をはじめ3省への要望活動や国会議員への要望活動等が対面で行われるように、努力して参りたいと思っております。

### 祝 辞 (要旨)

群馬県教育振興会

会長 菅原英直



群馬県教育振興会は、皆様方の日頃からの格段のご支援の下に活動ができていく団体です。

本会は昭和49年に設立し、来年は創立50周年を迎えます。過去の記録を見ますと、昭和42・43年頃に発足に向けての準備が始まりました。その当時の退職校長会の方々が中心となり計画を進め、この会が設立されたように私は思っています。従いまして教育振興会は、退職校長会が創



立されていないければ別の形になっていたかも知れません。  
群馬県の教育の振興を担い活動を続けておりますので、退職校長会と想

は重なる部分が多いと思います。これからも親の立場として見守っていただければ幸いです。ご支援をよろしくお願いたします。

## 令和5年度 活動方針

### — 社会から期待される存在感のある退職校長会に —

群馬県は、第3期群馬県教育振興基本計画（2019年度～2023年度）において、基本目標「たくましく生きる力をはぐくむ」自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う」とし、それを具体化するために、「生涯にわたり一人ひとりが持つ個性や能力を伸ばし、可能性を育むために、自ら学び、自ら考える力を育成する視点」と「誰もが互いに多様性を認め合い、共に支え合う社会をつくる視点」の2つの視点を設定している。

本会は、「会員相互の連携・親睦を図り、教育の振興に寄与すること」を目的として1965年（昭和40年）に発足し、今年度は創立後58年を迎える。

国や県において、新しい時代に対応した教育振興施策が推進されていることを踏まえつつ、本会は会則に則り、次に掲げる基本方針と各部・委員会の活動の重点等に基づき、社会から期待される存在感のある退職校長会をめざし活動を推進する。

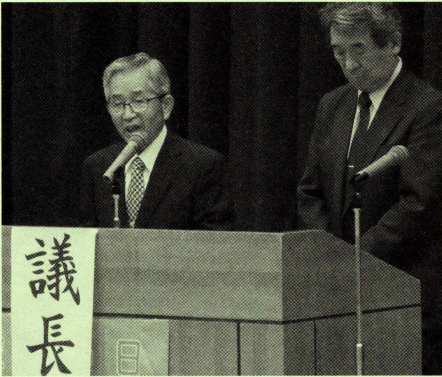
#### I 基本方針

- 1 本会目的の具現化に向けて、支部相互の連携を一層密にして支部と一体となって活動を推進する。
- 2 学校・家庭・地域社会への教育支援活動及び生涯学習の振興を積極的に推進する。
- 3 関係諸団体との連携強化の下に「ぐんま教育の日」推進大会を開催し、市・町・村「教育の日」制定・推進に努める。
- 4 令和7年度の創立60周年を契機に

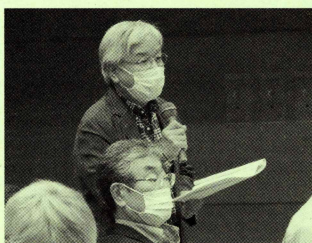
本会が一層充実発展するよう、記念事業の準備を開始する。  
5 全国連合退職校長会及び関東甲信越地区退職校長会との情報交換を密にし、会員へ資料提供するとともに会員の連携強化に努める。

#### II 活動の重点

- 1 組織整備・運営の活性化、福利厚生  
の充実（総務部）
  - (1) 定期総会と定例理事会の企画・運営に努める。
  - (2) 本部・理事会と各支部との連携強化に努める。
  - (3) 各部、委員会との連絡・調整を図る。
  - (4) 各支部の組織及び事業内容等の情報収集・提供に努める
  - (5) 群馬県教育委員会・現職校長会との連携強化に努める。
  - (6) 慶弔規程や福利厚生の手順な運営に努める。
  - (7) 年度末に役職定年時校長へ祝意を表すとともに本会への勧誘を活発に行い、さらに人脈を生かして新入会員の確保に努める。
  - (8) 新任校長へ祝品を贈って祝意を表すなど、本会の加入促進のための活動や広報活動に努める。
  - (9) 令和5年度版「新入会員名簿」を作成し、全会員に配付する。
  - (10) 令和7年度創立60周年記念事業及び令和8年度関ブロ群馬大会の準備を進める。
- 2 会員相互の連携・親睦、教育支援活動の積極的な推進（事業部）
  - (1) 実践発表、講話、現地研修会などの充実した研修会を開催し、会員相互の連携・親睦を図る。
  - (2) 令和5年度の各部・委員会や支部の活動報告書「Nenrin」第22号を編集・発行する。
  - (3) 研修会及び「Nenrin」発行を通して、学校・地域社会の教育活動の推進及び同好会やクラブ活動の奨励に寄与する。
- 3 広報活動の改善・充実（広報部）
  - (1) 会報「群馬県退職校長会だより」を年2回発行する。
  - (2) 会員の寄稿「生き生き人生」や会員の活動、動静等を積極的に掲載する。
  - (3) 「学校は今」として、県下小・中学校現場の情報を掲載し、教育の現状を紹介する。
  - (4) 研修・教養コーナーとして、県内の遺跡や文化・自然遺産とそれに関わる人物を紹介する。
  - (5) 「群馬県退職校長会だより」を職員、校長、県・市町村教育委員会等に配付する。
- 4 「ぐんま教育の日」の推進及



議長団





び市町村の「教育の日」制定の  
推進（教育の日委員会）

(1)群馬県教育委員会、(一財)群馬  
県教育振興会・関係諸団体等と  
の連携を図り、各支部退職校長  
会とともに「教育の日」の推進  
に努める。

(2)各支部において「教育の日」に  
関する共通理解を図るとともに、  
関係団体等への啓発に努める。

(3)「教育の日」未制定市町村に要  
望書を提出するとともに、各支  
部と連携しその市町村教育委員  
会への訪問に努める。

(4)「ぐんま教育の日」推進大会を  
開催し、教育に対する県民の意  
識の高揚を図るとともに、今後  
更なる充実に努める。

(5)「教育の日」全国制定・実施状  
況等や市町村「教育の日」制定  
に向けた啓発資料等の作成を開  
始する。

令和4年度の主な事業・活動の報  
告は「Nenrin」第21号に掲載し  
てあります。

お詫びと訂正

「Nenrin」第21号、13ペー  
ジ上段の地区表示が「甘楽・館  
林」と記載されていますが、正  
しくは「邑楽・館林」です。  
訂正し、お詫び申し上げます。

令和4年度 一般会計決算 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

1 収入の部

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 会費	4,935,000	4,738,927	△196,073	会費納入者1,583人
2. 繰越金	632,707	632,707	0	前年度繰越金
3. その他	110,016	110,016	0	弘済会・教育振興会助成金、前橋支部負担金、利息
合計	5,677,723	5,481,650	△196,073	

2 支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 総会費	160,000	125,850	△34,150	総会（書面による総会）関係費
2. 会議費	100,000	51,865	△48,135	諸会議関係費
3. 事業費	800,000	889,962	89,962	教育の日推進大会費、研修会関係費、新任校長祝品代、支部活動助成金、支部活動特別助成金
4. 備品費	70,000	56,870	△13,130	ソフト代、電話機代
5. 管理費	170,000	143,489	△26,511	事務所使用料、光熱費等
6. 行動費	1,120,000	1,094,500	△25,500	本部・事務局行動費
7. 事務費	130,000	84,342	△45,658	用紙・封筒等事務消耗品費
8. リース代	170,000	154,764	△15,236	コピー機レンタル料
9. 印刷費	600,000	523,735	△76,265	退職校長会だより・Nenrin印刷代、コピー機印刷代、新会員名簿印刷代
10. 通信費	230,000	191,354	△38,646	電話代、切手・葉書代、資料郵送代等
11. 交通費	350,000	226,400	△123,600	諸会議等旅費
12. 慶弔費	380,000	329,228	△50,772	香典・レタックス代等
13. 負担金	680,000	637,000	△43,000	全連退（会員1人400円）・群馬県教育振興会負担金
14. 積立金	300,000	300,000	0	特別会計へ積立（令和7年度の創立60周年、事業・会員名簿作成、令和8年度の関プロ群馬大会の資金）
15. 関プロ関係	90,000	38,080	△51,920	参加者負担金（2名）、旅費
16. 雑費	100,000	0	△100,000	コピー機・パソコン等修繕費
17. 予備費	227,723	0	△227,723	
合計	5,677,723	4,847,439	△830,284	

3 差引残高 5,481,650-4,847,439=634,211円 634,211円は次年度に繰り越します。（年度当初の運営資金）

令和4年度 特別会計決算

1 収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 繰越金	943,959	943,959	0	
2. 繰入金（積立金）	300,000	300,000	0	令和7年度群馬県退職校長会創立60周年事業に向けた資金 令和7年度「会員名簿」作成に向けた資金 令和8年度関東甲信越地区退職校長会連絡協議会群馬大会に向けた資金
3. 利息等	7	10	3	
合計	1,243,966	1,243,969	3	

2 支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	備考
1. 繰出金	0	0	0	
合計	0	0	0	

3 差引残高 1,243,969-0=1,243,969 1,243,969円は令和5年度に繰り越します。

新会長あいさつ

存在感のある県退職校長会へ

立見康彦



県退職校長会の  
新会長になりました  
た立見康彦です。  
その重責を大変強  
く感じています。

退職校長会の魅力は様々な活動があつてこそ、発揮されるものです。コロナ禍の中でその活動が、十分でない状況でした。今年度は、コロナ禍のある程度の収束がみられることやコロナ感染症が第5類へ移行したことから活動が再開できます。再開に当たっては工夫が必要となり、工夫によって活動の活性化と充実に結び付けたいと考えます。

次に、今までに増して存在感のある退職校長会にしていきたいと思っております。そのために、県教育委員会や現職校長会との連携を強化していきます。また、支部活動をBコープと名付けバックアップします。県下、コミュニティスクールの推進されていることから、市町村の「教育の日」制定の働き掛けを強化します。

現在私は、群馬大学の客員教授、地元の自治会長、県教育振興会の常務理事、日本教育会県支部の常任理事、日本教育新聞の編集員をしております。その様々な立場の経験を生かして本会の運営をしていきます。  
なお、信条は「至誠通天」です。



令和5年度 主な事業・活動の計画

4月

- ・令和4年度会計監査
- ・第1回総務部会
- ・第1回本部役員会
- ・4月定例理事会
- ・全連退第1回常任委員会

5月

- ・定期総会
- ・第1回教育の日委員会
- ・第1回事業部会
- ・第1回広報部会

6月

- ・全連退第1回理事会
- ・全連退第58回総会
- ・第2回事業部会
- ・第2回広報部会
- ・第2回総務部会
- ・第2回教育の日委員会

7月

- ・全連退第2回常任理事会
- ・第2回本部役員会
- ・7月定例理事会
- ・「退職校長会だより」86号発行
- ・「新入会員名簿」配付

9月

- ・第3回事業部会
- ・全連退第3回常任理事会
- ・第3回教育の日委員会
- ・第3回総務部会
- ・第3回本部役員会

10月

- ・第3回広報部会
- ・全連退第2回理事会
- ・10月定例理事会
- ・研修会北群馬・渋川支部主管
- ・第52回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会千葉大会
- ・市町村教育委員会訪問

11月

- ・現職校長会との研究協議会
- ・全連退第4回常任理事会
- ・「ぐんま教育の日」推進大会
- ・第4回教育の日委員会
- ・群馬県教育委員会との情報交換

12月

- ・第4回広報部会

1月

- ・第4回総務部会
- ・第4回本部役員会
- ・1月定例理事会
- ・「退職校長会だより」87号発行

2月

- ・顧問・本部役員会
- ・全連退第5回常任理事会
- ・第4回事業部会
- ・退任退職校長等への祝意を表すとともに加入勧誘を行う

3月

- ・第5回事業部会
- ・第5回総務部会
- ・第5回本部役員会
- ・「Nen Rin」第22号発行

令和5年度 一般会計予算(案) (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

1 収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1. 会費	4,665,000	4,935,000	△270,000	会費納入者1,555人(見込み)
2. 繰越金	634,211	632,707	1,504	前年度繰越金
3. その他	110,016	110,016	0	弘済会・教育振興会助成金、前橋支部負担金、利息
合計	5,409,227	5,677,723	△268,496	

2 支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1. 総会費	300,000	160,000	140,000	総会関係費
2. 会議費	100,000	100,000	0	諸会議関係費
3. 事業費	750,000	800,000	△50,000	支部活動助成金、教育の日推進大会費、研修会関係費、新任校長祝品代
4. 備品費	50,000	70,000	△20,000	椅子代
5. 管理費	170,000	170,000	0	事務所使用料、光熱費等
6. 行動費	1,120,000	1,120,000	0	本部・事務局行動費
7. 事務費	130,000	130,000	0	用紙・封筒等事務消耗品費
8. リース代	160,000	170,000	△10,000	コピー機レンタル代
9. 印刷費	570,000	600,000	△30,000	退職校長会だより・Nen Rin印刷代、コピー機印刷代、新会員名簿印刷代、支部コピー機印刷代
10. 通信費	230,000	230,000	0	電話代、切手・葉書代、資料郵送代等
11. 交通費	330,000	350,000	△20,000	諸会議等旅費
12. 慶弔費	380,000	380,000	0	香典・レタックス代等
13. 負担金	630,000	680,000	△50,000	全連退(会員1人400円)・群馬県教育振興会負担金
14. 積立金	300,000	300,000	0	特別会計へ積立(令和7年度創立60周年事業・会員名簿作成及び令和8年度関バロ群馬大会の資金)
15. 関バロ関係	80,000	90,000	△10,000	参加者負担金(2名)、旅費
16. 雑費	50,000	100,000	△50,000	コピー機・パソコン等修繕費
17. 予備費	59,227	227,723	△168,496	
合計	5,409,227	5,677,723	△268,496	

令和5年度 特別会計予算(案)

1 収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1. 繰越金	1,243,969	943,959	300,010	
2. 繰入金(積立金)	300,000	300,000	0	令和7年度群馬県退職校長会創立60周年事業に向けた資金 令和7年度「会員名簿」作成に向けた資金 令和8年度関東甲信越地区退職校長会連絡協議会群馬大会に向けた資金
3. 利子等	10	7	3	
合計	1,543,979	1,243,966	300,013	

2 支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A-B)	備考
1 繰出金	0	0	0	
合計	0	0	0	

3 差引残高 1,543,979-0=1,543,979 1,543,979円は、令和6年度に繰り越す予定です



お祝いの言葉

会長 松井和夫

今年、邑楽・館林支部の半田勝次様がめでたく百歳、上寿を迎えられました。そして米寿を迎えられた会員が52名おられます。誠にめでたうございます。

定年退職あるいは役職退任後には、学校への教育支援や地域活動のお手伝いをしながら、健康で20年、そして30年、40年と、元気に過ごすことができればと、会員の誰もが考えていることでもあります。88歳はおめでたい一つの節目であります。お祝いに、全国連合退職校長会からの賀詞と本会からの記念品を贈呈させていただきます。

また、高齢者叙勲で瑞宝双光章を受章されました方が21名、教育功労等叙勲の瑞宝双光章受章者の方が8名おられます。皆様は長年にわたり学校教育や教育行政等にご尽力をされた功績が認められて受章されました。お祝いに、本会から記念品を贈呈させていただきます。これからもそれぞれの立場で教育の振興や地域への貢献、後輩の指導のためにご活躍をされますことをご祈念申し上げます。

さらに、長く本部役員と会長を2期4年間務めて退任された原前会長さんに特別表彰を贈るとともに、昨年度まで役員を務め、この度ご退任される理事の方々に感謝状をお贈りいたします。本当にありがとうございます。

各種受賞(章)おめでとうございませう

会員一同お祝い申し上げます

★上寿会員・寿詞贈呈者

半田勝次(邑楽・館林)

★米寿会員・賀詞贈呈者

近藤雅一(前橋)

後藤達夫(前橋)

下村由紀子(前橋)

林克明(前橋)

斉木清四郎(前橋)

長谷川清(前橋)

片貝勇作(前橋)

竹内嘉夫(前橋)

関口宗男(前橋)

毒島晃一(佐波・伊勢崎)

竹内和昭(佐波・伊勢崎)

生形雅佑(佐波・伊勢崎)

國定昇(佐波・伊勢崎)

仁平健一(佐波・伊勢崎)

永井留治(利根・沼田)

小野富夫(利根・沼田)

深津雅義(利根・沼田)

角田景(利根・沼田)

谷川猛(吾妻)

宮原泰三(吾妻)

小淵光夫(吾妻)

青木利夫(吾妻)

小林利夫(吾妻)

田中富雄(吾妻)

★高齢者叙勲受章者

河野和男(吾妻)

齋藤民一郎(吾妻)

水出光男(吾妻)

池内嵩(高崎)

熊澤峻(高崎)

原利夫(高崎)

中島悦郎(高崎)

細矢利男(高崎)

中島公男(安中)

須賀熙(安中)

佐俣英司(安中)

岩井進(安中)

神戸茂(安中)

堀越友子(甘楽・富岡)

里見元夫(甘楽・富岡)

原澤満理子(甘楽・富岡)

加藤晃一(甘楽・富岡)

高橋純雄(多野・藤岡)

藤本由貴雄(桐生)

仁科隆司(太田)

小沼道子(太田)

栗原道夫(太田)

木部順吉(太田)

小林和忠(邑楽・館林)

関田弘(邑楽・館林)

半田晶夫(邑楽・館林)

宇治川哲也(邑楽・館林)

須永幸三郎(県外)

★特別表彰者

原秀介(高崎)

★感謝状贈呈者

伊藤都幸(前監事)

金子信修(前副会長・理事)

高山信廣(前副会長)

井野誠一(前書記)

中島啓元(前書記)

真下克也(前理事)

高橋正一(前理事)

片山哲也(前理事)

深沢博行(前理事)

湯浅正雄(前理事)

國井勉(前理事)

小池琴彦(多野・藤岡)  
黒澤右京(多野・藤岡)  
徳江基行(佐波・伊勢崎)  
國井勉(邑楽・館林)

★教育功労叙勲受章者

松田絢子(前橋)

唐澤正明(吾妻)

高橋直幸(吾妻)

小林靖能(吾妻)





### 受賞(章)者代表謝辞

利根・沼田支部 小野 富夫

総会に先立ちまして、私たちのために祝賀会を設けていただき本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

長い歴史の中で退職校長会が歩んできた業績の数々を会長さんからお話いただき、貴重な団体であることを再認識いたしました。

私が教員になった時は、1学級が55人と生徒数が多く、またマンモス校も多い時代で、楽しい事も多い反面、時代の色々な荷物を背負っている事を自覚させられていました。

困ったことをいくつか挙げてみますと、道徳教育の復活が一つの課題でありました。次に、ソビエトがスプートニクを打ち上げ、科学の時代が来たという事で、教育の現代化が大きな話題になりました。さらに、シンクロファックスやOHP、パソコンと次々に新しい教育機器が普及し、その活用については大きな課題でした。その間には生徒指導の問題もありました。

最近では、教員のなり手が少なくなってきたということが新聞に掲載されていましたが、これは大変な問題だという思いがします。教員は非常に多忙であり、しかも給料が安いこと等、教員の環境が大変厳しくなり希望者が少ないという現状は、大変憂うべきことだ

と思えます。米寿を迎えて、今更何ができるかお手伝いできるかは大変難しいことではあります。教育界を経験した一人として、また、本日の受賞のお礼として、精一杯お返ししたいと考えています。本日は誠にありがとうございました。

## 令和5年度 新会員のご紹介

今年度退任加入者 57名  
過年度退任加入者 1名 計58名

#### 前橋支部

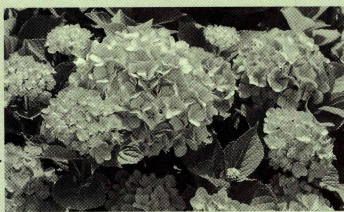
#### 高崎支部

#### 桐生支部

木部 悟  
折田 一人  
北爪 喜久雄  
多賀谷 雅之  
林 恭祐  
永井 加津美  
岩崎 博文  
佐波・伊勢崎支部  
田村 克美  
霜田 美幸  
藤塚 博幸  
北群馬・渋川支部  
坂本 浩之  
森田 満  
角田 和志  
阿部 泰博  
下境 一浩  
松井 美雪  
利根・沼田支部  
荒木 富美子  
吾妻支部  
篠原 正洋  
高橋 直樹  
山野 悟  
青木 清  
唐澤 浩二郎

永井 正樹  
砂田 尚美  
堀越 紀子  
佐藤 明彦  
有川 邦彦  
吉井 剛  
高橋 秀武  
齋藤 幸夫  
込山 光浩  
村田 光宏  
山中 英俊  
上原 久志  
甘楽・富岡支部  
藤井 清一  
永井 尚寿  
高橋 博幸  
渡辺 浩  
市川 光早  
赤石 啓寿  
富岡 千春  
多野・藤岡支部  
竹村 俊夫  
浅見 礼子  
吉村 紀子  
黒澤 英樹

小林 久泰  
山同 秀光  
みどり支部  
糸井 隆志  
宮下 玲子  
近藤 千枝子  
大川 博靖  
大田支部  
大栗 和美  
邑楽・館林支部  
竹内 昭典  
小島 邦昭  
小泉 淳洋  
長谷川 洋  
小林 淳一  
岩上 博志



### 新会員代表あいさつ

佐波・伊勢崎支部 藤塚 博幸



私たちが令和4年度末退職校長は、昨年度末に各支部の先輩方よりお声掛けいただきまして、本会に入会をさせていただくことになりました。

校長職を勤め上げました私たちが、本会では新会員として活動をさせていただくこととなり、なんだか少し若返った心持ちがしますとともに、現職時にお世話になった先生方が大勢いらっしゃり、身の引き締まる思いです。

学校においては、約3年間にわたる新型コロナウイルス対応が一区切りし、コロナ後の新たな学校経営に向けて動き出したところです。私たちは、学校を取り巻く環境が大きく変化している中で更に教育活動が充実し子どもたちの笑顔あふれる学校づくりに微力ながら貢献できるよう、本会の活動に取り組んで参る所存です。

結びに、私たち新入会員に対しまして諸先輩方から暖かいご指導とご支援をいただけますようお願い申し上げます。新会員代表の挨拶とさせていただきます。

#### 「研修会」

期日 10月19日(木) 13時

会場 群馬県埋蔵文化財調査センター

発掘情報館

#### 「ぐんま教育の日」推進大会

期日 11月18日(土) 13時30分

会場 前橋市第三コミュニティセンター



# 生き生き人生

## 退職後の日常

邑楽・館林支部 相川 敏雄

先祖伝来の畑が60坪ほど残っている。周囲は都市化でアパートになり、この畑だけが昔のまま。退職後はそこを耕し季節の野菜などを育てている。



春はネギの種を蒔く。小さな種からかわいい芽が出てくるのが嬉しい。次に、干して切っておいたジャガイモの種芋を植えたり、冬越ししたエンドウの苗を植え出したりする。4月の末には、ナス、キュウリ、トマト、カボチャの苗なども植え出す。土づくりや棚立てなど面倒な作業もあるが、成長を見る楽しみや収穫の喜びが味わえるので面白い。夏が終わる頃、ホウレンソウ、ブロッコリー、ダイコン、コマツナ、チンゲンサイ、カキナなど野菜の種を蒔く。連作障害に気を付けなければならぬ。今や二人暮らしなので、妻は「そんなに作ってどうするの」と言うが、親戚、知人、友人に配り、「おいしかったよ」と言ってもらおうと頑張る気持ちで持続する。アパートの子どもが「おじさん、何

やっているの？」と聞いてきたことがきっかけで、アパートの住民と交流が始まった。昨年9月のよく晴れた日曜日「芋ほり大会」をした。前回に続いて2回目。今回は、3家族、9名。子どもは4人、大人の方が多い。大人に手伝ってもらい、芋が出てくるたびに子どもたちの歓声があがる。大きいのが小さいの合わせて50個ほどの収穫だ。獲れた芋を前に並べて記念撮影をした。新築したり転勤したりで、アパートの住民はいつまでもここにいない。どこに行っても、そんな日があったと良い思い出になればいい。

こんな日常を月に3、4回、ブログに載せている。時に反応があり、元気をいただいているなどという反応があつたりして励みになる。

ブログには載せられないが、退職後、保護司としての活動をしている。保護司とは、犯罪の予防のための啓発活動をする他、犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生を図るための約束事を守るよう指導することにも、生活上の助言や就労の手助け等を行う。10年間で9名の人々を担当した。それぞれ事情を酌みながら相談のつたり助言をしたりするのだが、残念ながら再犯で収監されてしまう人もいた。力不足を感じる一方、満期になって元気に働き、お世話になりましたと挨拶に来てくれる人もいて、そういう時は、役に立ってよかったなと充実感が味わえる。

### 令和5年度 役員等紹介

顧問	青木 宗	関口 忠	石田 和	原田 秀	松井 彦	立見 弘	清水 悦	田村 成	鹿沼 昭	申田 修	金子 悦	中村 久	中山 貞	山中 幸	山崎 孝	嶋田 史	井田 史	池田 史	梅澤 史	中野 史	岡野 史	桑原 史	小井戸 史	西澤 史	木村 史	鹿沼 史	大谷 史	栗原 史	岡田 史	横倉 史	武藤 史	入山 史	松村 史	事務局員		
会長	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	
副会長	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	
書記	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	
理事	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二
監事	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二
事務局員	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二	佐藤 俊二

物故者の御冥福を会員一同心よりお祈りいたします  
【敬称略】

《令和4年12月1日〜令和5年5月20日受付》  
氏名 (支部) 年齢 月・日